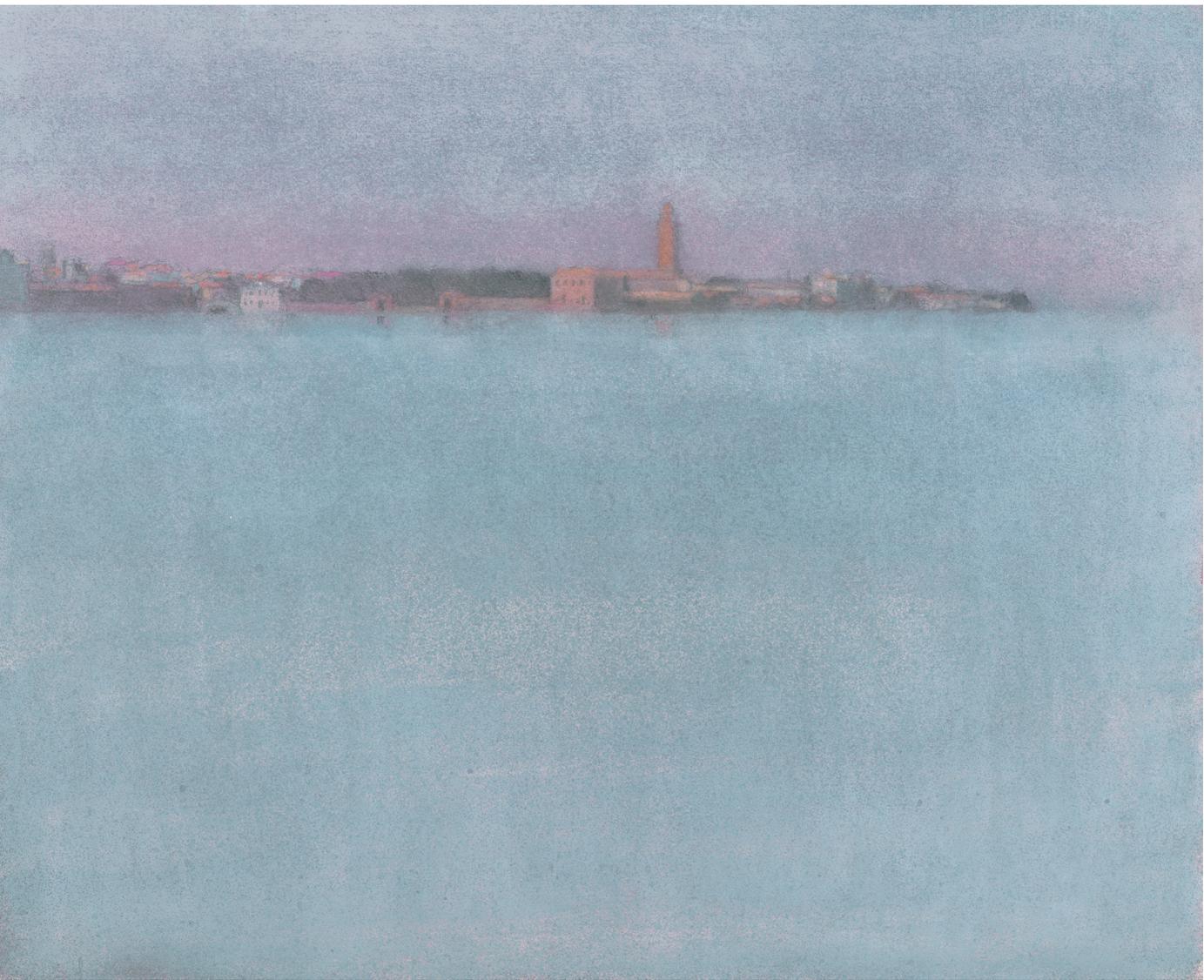


昭和34年7月27日第三種郵便物認可 毎月1回1日発行  
令和5年1月25日印刷 令和5年2月1日発行 第65巻第2号 通巻第759号

# ちから ぺんの力

美しい文字・個性的な書



令和四年度第3回昇格・昇段試験成績発表  
第55回ぺんの力 会友試験合格発表  
第72回 書道學會展成績発表

公益財団法人 日本書道教育学会

2/2023

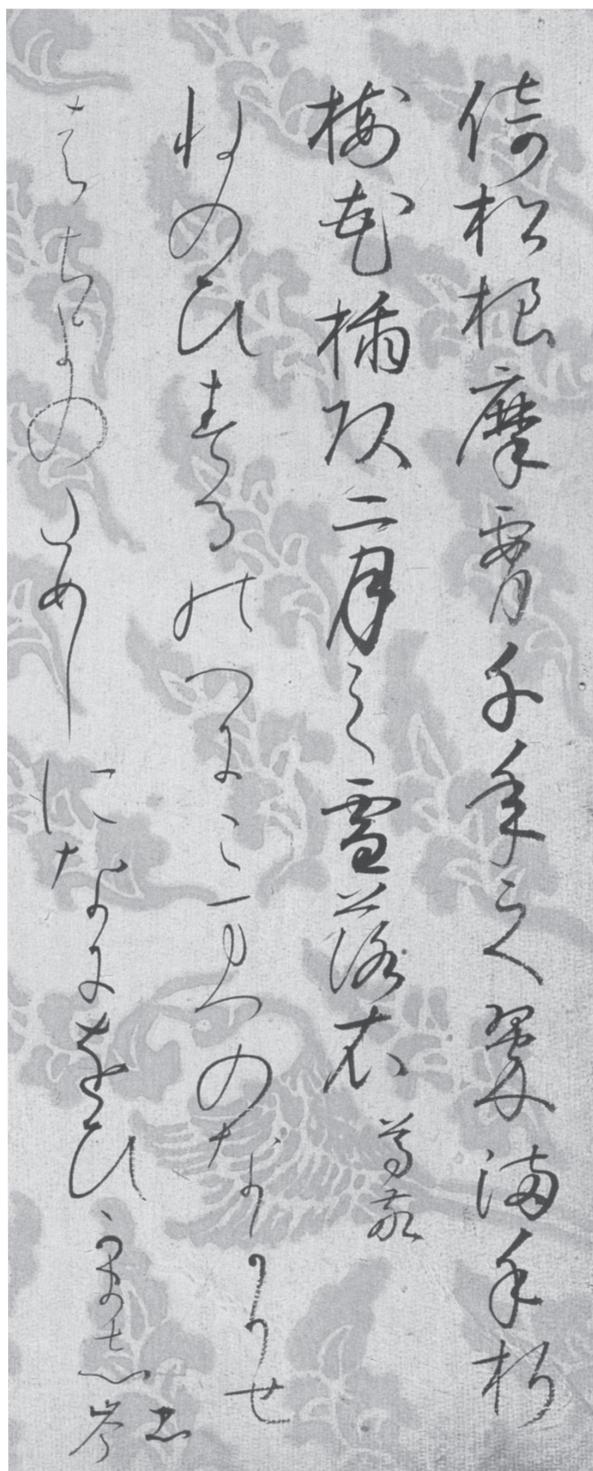
ぺんの力

2023年2月号

公益財団法人

日本書道教育学会

※左の「粘葉本和漢朗詠集」の「倚松根摩腰千年之翠滿手」から「ナルをひ可末志忠岑」までをペンで臨書しなさい。



〔原文〕 倚松根摩腰千年之翠滿手。折

梅花挿頭二月之雪落衣。尊敬

ねのひ春る能へルこ万つのな可りせ

者ちよの多めしにナルをひ可末志 忠岑

〔読み〕 松根に倚りて腰を摩れば千年の翠手に満ち、梅花を折りて頭に挿め

ば二月の雪衣に落つ。尊敬

子の日する野辺に小松のなかりせば千代のためしになにをひかまし

忠岑

〔出典〕

『粘葉本和漢朗詠集 卷上』 伝藤原行成筆 30～31

〔大意〕

○松の根によって腰を撫でると千年の松の緑の色が手の中に満ちあふれ、梅の花を折って頭にかざす時は花が散って時ならぬ二月の雪のように衣に落ちかかる。 橘 在列

○子の日の野遊をする野辺に小松がなかったならば、千年の長寿を祈るよすがに何を引いたらよいだろう。 壬生忠岑

(参考手本は次ページ)

堀津節子臨

(つけペン)

倚松根摩膏子年之翠水満年朽  
 梅在楠以二月之雪落志<sub>草</sub>菴  
 ねのひをうれつよこ<sub>の</sub>のたがうせ  
 きちよの<sub>り</sub>に<sub>た</sub>よ<sub>ま</sub>を<sub>ひ</sub>う<sub>ま</sub>と<sub>心</sub>岩<sub>心</sub>

〔解説〕

端正で品格に満ち、漢字と仮名が美しく調和された書きぶりを学びましょう。

〔文字解説〕

摩<sup>2,3,4</sup> 満<sup>1</sup> 在<sup>3</sup> 梅<sup>2</sup> 倚<sup>1</sup>

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン（ボールペンは不可）、インクは黒色  
 用紙 ペンの力用紙A型（B型も可）  
 ※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

# 専攻コース

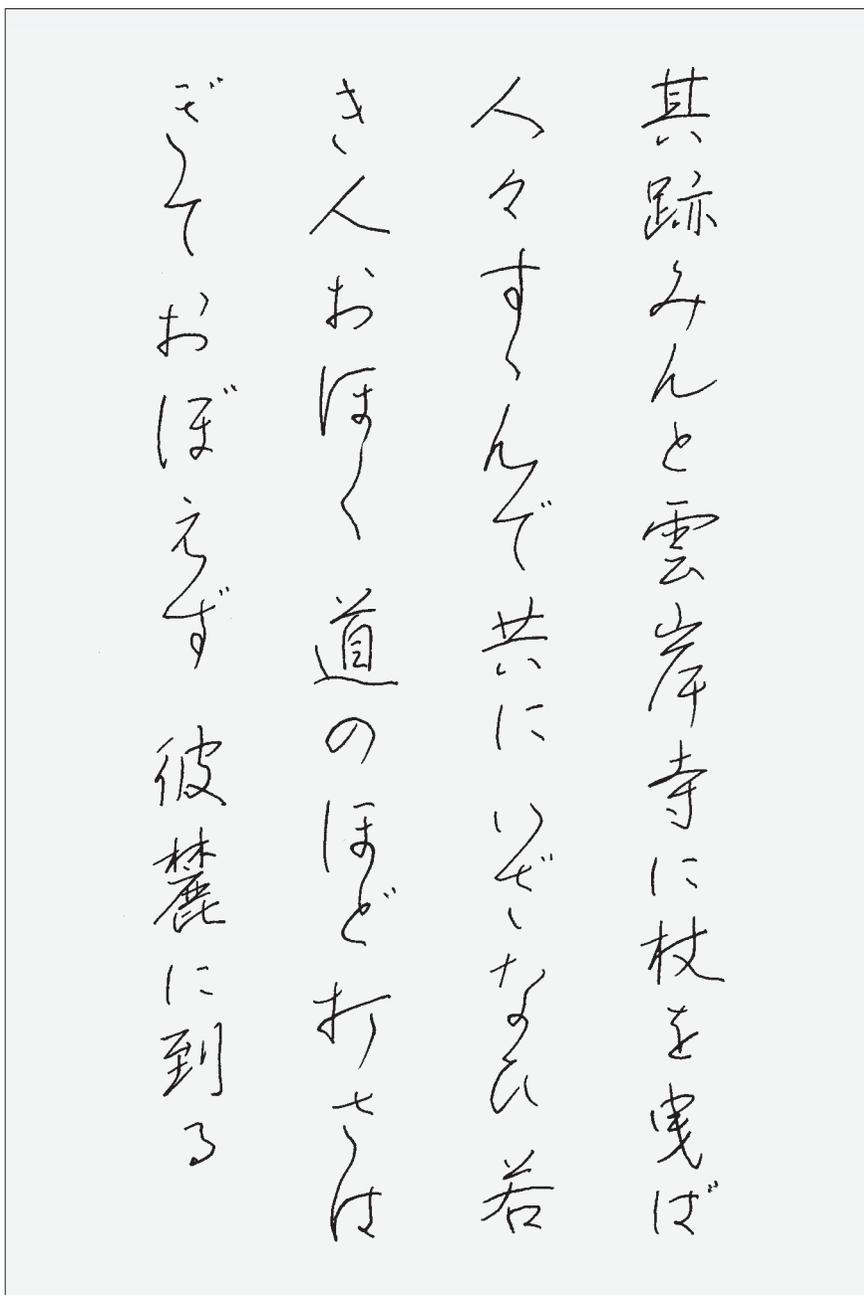
## 規定課題

(五段〜初段)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

加藤 玲子 書

(つけペン)



常用体	筆写体
跡	跡
雲	雲
岸	岸
杖	杖
共	共
若	若
彼	彼
麓	麓

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン

(ボールペンは不可)、インクは黒色

用紙 ペンの力用紙A型(B型も可)

※バーコード出品券と月別出品券④の

2枚を貼って出品してください。

〔読み〕

其跡みんと雲岸寺に杖を曳は、

人々すくんで共にいざなひ、

若き人おほく道のほど打さはぎ

て、おぼえず彼麓に到る。

〔作者〕 松尾芭蕉

(一六四四〜一六九四)

〔出典〕『奥の細道』

〔大意〕

その跡を見ようと、雲巖寺へ杖をつき向かうと、人々は進んで誘い合い、案内についてきてくれた。若い人が多く、道すがら賑やかで、気付いたらその麓に着いていた。

〔解説〕

全体の字数によって、文字の大きさや字間のバランスが変わります。今回は字数が少なめなので、ゆったりと伸びよく書き込みましょう。

専攻コース

規定課題

(1級～5級)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

堀津節子書

(つけペン)

水底の小魚の眼玉は

寄り眼にて生意気

たぐれど可愛くあるも

〔読み〕 水底の小魚の眼玉は寄り眼にて生意気なれど可愛くあるも

〔作者〕 木下利玄(一八八六～一九二五)

〔大意〕 水底に棲んでいる小魚の眼玉は寄り眼で、ちよつと気どつて見えるが、可愛なものだ。

〔解説〕 漢字の大きさ10に対してかなは8の割合で文字の大小のつりあいをとることが一般的に行われていますが画数の少ない文字は小さめになかと同じ位になる場合もあります。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン(ボールペンは不可)、インクは黒色  
用紙 ペンの力用紙G型

※バーコード出品券と月別出品券(A)の2枚を貼って出品してください。

(いろいろな書きぶり)

水	魚	意
水	魚	意
水	魚	意
底	寄	気
底	寄	気
底	寄	気
底	眼	愛
底	眼	愛
底	眼	愛

〔連綿の注意点〕

たぐれど あり

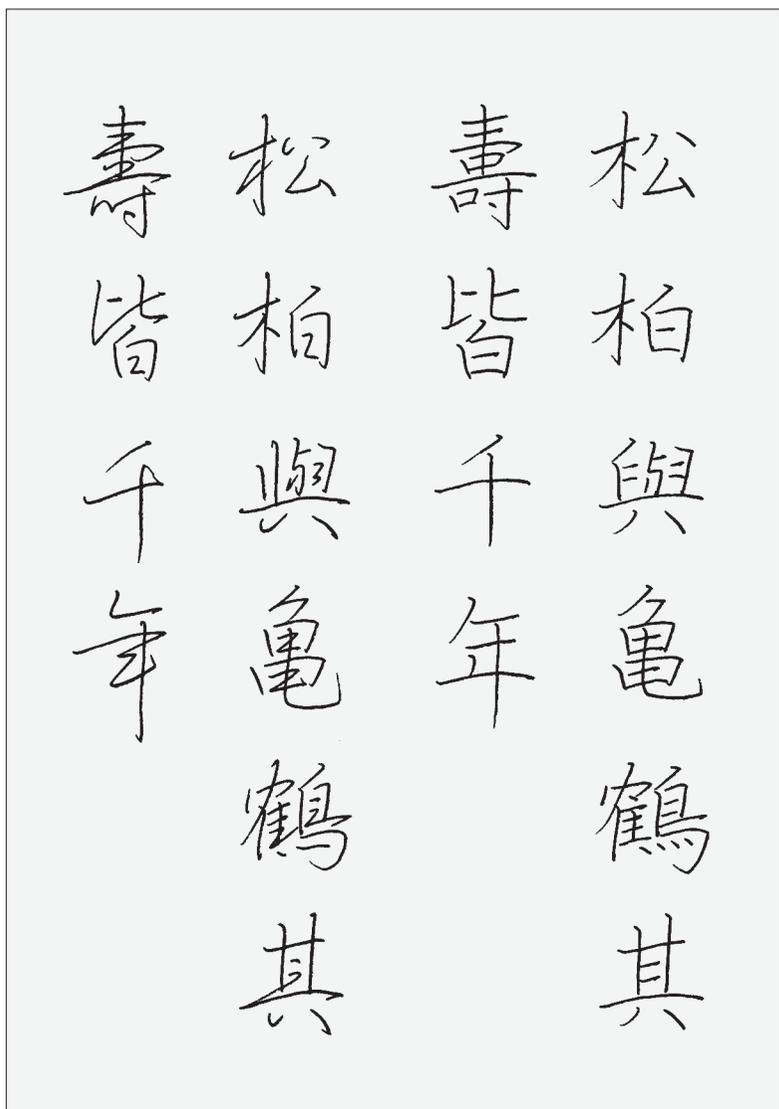
上の文字の取筆から※印まで一文字のように続ける

〈解説〉

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

福原 溪 春 書

(つけペン)



(解説)

筆写体 松 柏 出る 止めてもよい

旧字体 壽 皆 常用体

伏 伸びよく 仰直 伏 伸びよく

旧字体 與 龜 常用体

鶴 其 仰 長く伏せる

筆写体 松 柏 書きぶりを覚えて

筆写体 壽 皆 ねかせる

筆写体 與 龜 鶴 其

筆写体 壽 皆 長大画

旧字体 龜 筆写体

用 具 つけペン、万年筆またはデスクペン（ボールペンは不可）、インクは黒色

用 紙 ペンの力用紙G型

※バーコード出品券と月別出品券(A)の2枚を貼って出品してください。

〈原文〉 松柏與龜鶴 其壽皆千年  
 〈読み〉 しょうはくきかくとせよわいせんねんなり  
 〈作者〉 白居易（七七二〜八四六）  
 〈大意〉 松や柏、それに亀や鶴も、その寿命はみな千年を保つ。

〈解説〉 ○最後の「年」を伸びやかに表現したいので、一行目を六字に配した。

○亀の旧字体・筆写体は画数が多く難しいので、常用漢字体にした。挑戦したい方は、書いてみるのもよいでしょう。



基礎コース

規定課題

(五段〜初段)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

宮田 須美子 書

(デスクペン)

日新館は戊辰戦争で焼失したが、現在は忠実に復元され、孔子を祀った大成殿や文武両道の教場が並ぶ。

〈解説〉

焼	焼	焼	焼	常用体	旧字体	筆写体
西	兩	兩	兩	常用体	旧字体	
教	教	殿	殿	常用体	旧字体	
場	場	武	武	常用体	旧字体	

祀のいろいろな書き方

祀 祀 祀

〈読み〉

日新館は戊辰戦争で焼失したが、現在は忠実に復元され、孔子を祀った大成殿や、文武両道の教場が並ぶ。

〈出典〉

旅行ガイドブルミエ『磐梯・会津・喜多方』徳間書店より

〈解説〉

漢字が多いので中心が揃うように書きましょう。

用具

つけペン、万年筆またはデスクペン、ボールペンも可 インクは黒色

用紙

ペンの力用紙3行書き

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

人間の世界には、活動できる

場所はどこにもでももある。

↑ここに貼る↑  
月別・バーコード券

次の画に向ける		
軽くとめる	画を省略し、次につなぐ	点をつなぐ
人間の世界には、活動できる		
場所はどこにもでももある。		

〈読み〉 人間の世界には、活動できる場所はどこにもでもある。 〈出典〉 ことわざ・人間じんかんいたる所に青山あり

〈解説〉 行書ですから直線のように硬くならないよう、書きなれましょう。

用具 つけペン、万年筆またはデスタクペン、ボールペンも可 インクは黒色 用紙 ペンの力用紙2行書き

※バーコード出品券と月別出品券①の2枚を貼って出品してください。

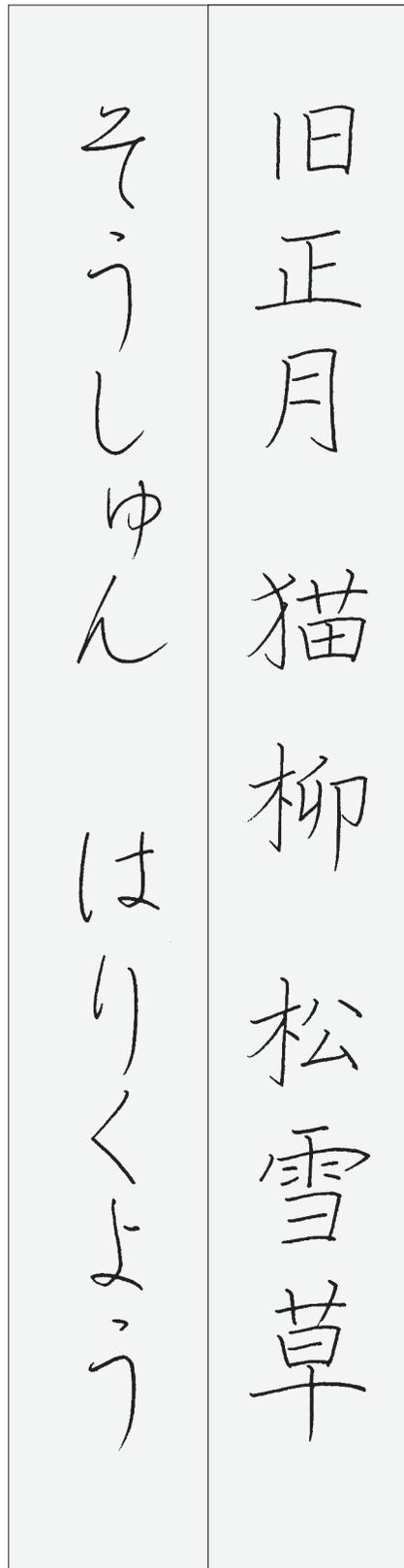
# 基礎コース

## 規定課題

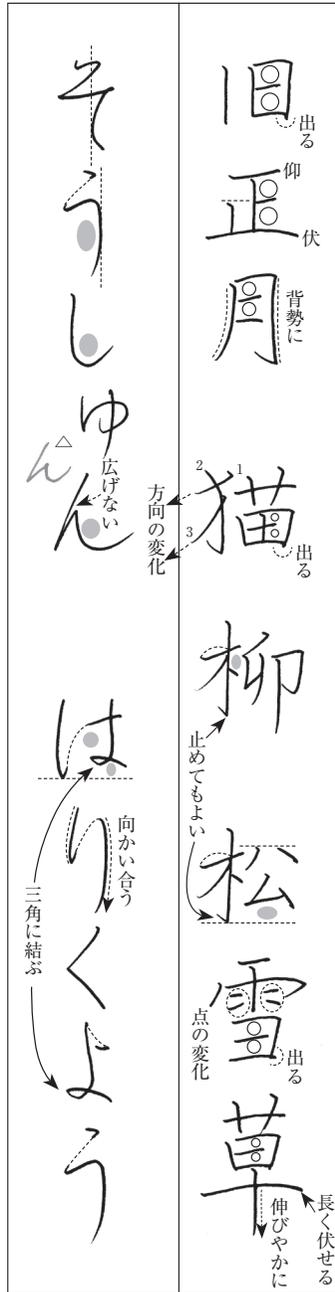
(6級～10級)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

福原 溪春書 (つけペン)



### 〈解説〉



〈読み〉 旧正月 猫柳 松雪草  
 そうしゅん はりくよう  
 『最新 俳句歳時記』

### 〈解説〉

「松雪草」・・・先端に雪白の花を下向きにつける。  
 「スノードロップ」は英名で、雪の雫の意味である。  
 「針供養」・・・毎年二月八日、針仕事を休み、折れた針を集めて供養する行事。関西・九州では十二月八日。※漢字は線の方向や長さに留意し、横画は等間隔にします。平がなは滑らかな曲線を目指してください。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン、  
 ボールペンも可 インクは黒色  
 用紙 ペンの力用紙2行書き  
 ※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って  
 出品してください。

随意課題

|| つけペン ||

専攻コース（1級〜10級）  
基礎コース（全員）

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。  
用紙を縦にして縦書きとしてください。

堀津節子書

〈読み〉

紅梅にあはれ琴ひく妹もがな

〈作者〉

夏目漱石

（一八六七〜一九一六）

〈大意〉

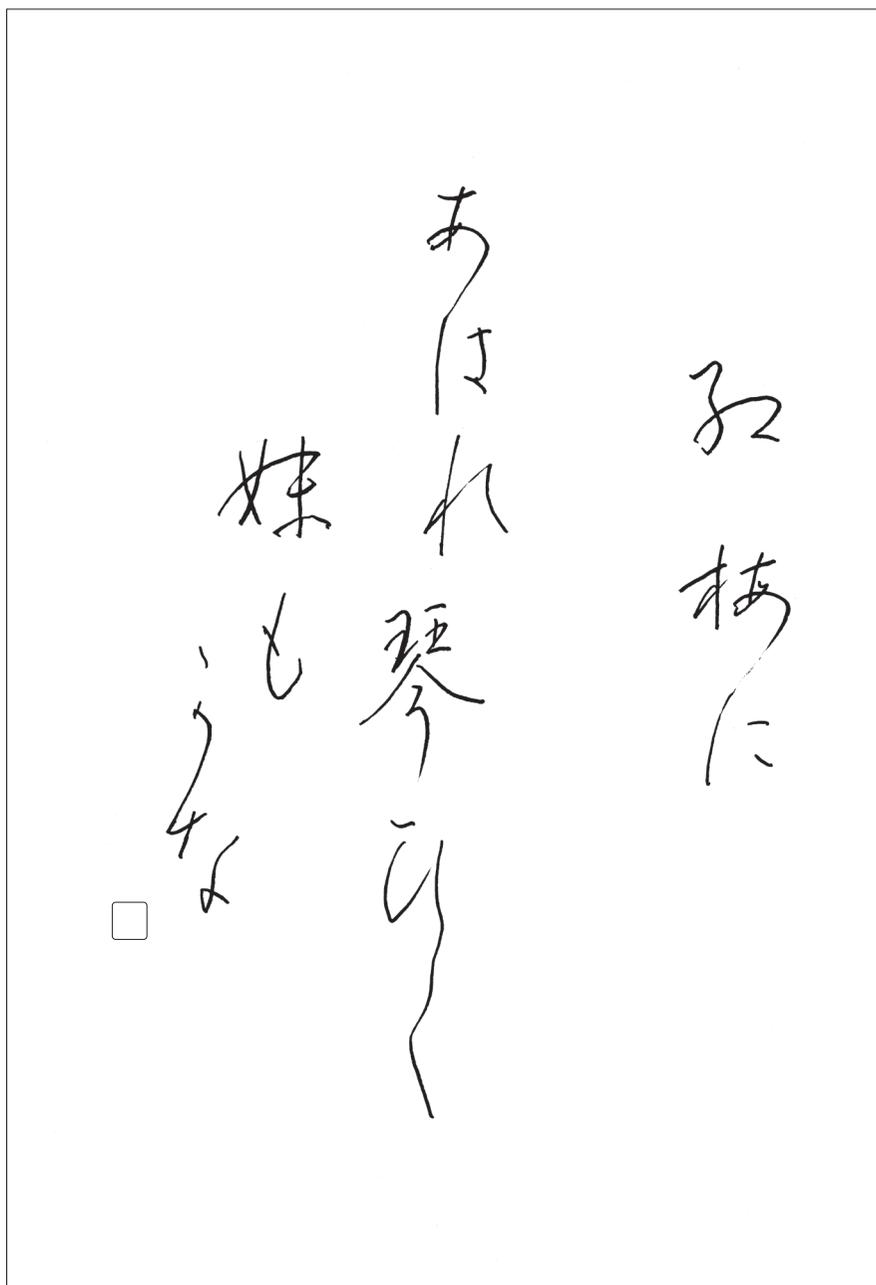
この句は前の句とセットになっ  
ていて、先に「紅梅の元で、年  
若い敦盛に細笛を吹かせたい」  
とし、「紅梅の庭園に敦盛の妻  
の趣ある琴の音があればよいの  
だが」と想像している。

〈解説〉

琴は中央でゆったりと書く。濁  
点をつけるとうるさくなるので  
つけないが読みは「がな」。

、うな（可）

うな（可）



※規定コースの段級を必ず記入してください。

記入のないものは段級不明となります。

※バーコード出品券と月別出品券©の2枚を貼って出品してください。

用具

つけペン、万年筆またはデ  
スクペインクは黒色 ボ  
ールペンは不可

用紙

ペンの力用紙A型

専攻コース（1級～10級）・基礎コース（全員）

※下の手本を参考に、自分の書きぶりでききなさい。

小島鳳治書  
(毛筆タイプ)

用具  
用紙  
ペン  
インクは黒色  
（さんずいや土偏なども同様）  
カタクナの多い課題です。横書きですので、字幅を揃えましょう。  
「シ」の3画目、「ン」の2画目の起筆はキレイく縦に打ち込みます

〔解説〕

カタクナの多い課題です。横書きですので、字幅を揃えましょう。  
「シ」の3画目、「ン」の2画目の起筆はキレイく縦に打ち込みます  
（さんずいや土偏なども同様）。

※下欄の不二教室名・段級・氏名のわくは、A型用紙（コピー可）のものを貼るか、筆ペン用紙をお求めください。手書き不可。（作品には不二教室名・段級・氏名を必ず明記してください）。

# 大人のワイン講座

講座とテイスティングで初心者からでも楽しめます

日時 2月9日・16日(各木曜日)  
13:30～15:30

会場 プラザ紅月・研修室A

内容 第1回:赤ワイン、白ワイン  
第2回:シャンパーニュ

講師 前田道代氏(シニアソムリエ)

参加費 各回1,000円

対象 20才以上(各回とも定員50名)

申込み 伊丹市生涯学習課  
(785-4321)

教室名	段	氏名	氏名	級
-----	---	----	----	---

※規定コースの段級を必ず記入してください。記入のないものは段級不明となります。  
※バーコード出品券と月別出品券①の2枚を貼って出品してください。

随意課題

ボールペン

専攻コース（1級～10級）・基礎コース（全員）

※下の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

※規定コースの段級を必ず記入してください。記入のないものは段級不明となります。  
※バーコード出品券と月別出品券⑥の2枚を貼って出品してください。

郵便はがき

2	7	3	0	1	1	2
---	---	---	---	---	---	---

鎌ヶ谷市東中沢五二一

柿島由貴様

北区昭和田六四一三

関節子

1140111

この大雪であの日を思い出しました。歩車道の境界もわからなくなる程降り積もり大はしやりましたね。あれから九年転んで怪我をしたりしないよう慎重に動いております。体を冷やさないようお気をつけて

【解説】文意が伝わるような字間になるよう留意しましょう。連続はこの通りでなくても、書き易い箇所で文章を崩さないように書き換えても構いません。

用具 ボールペン（油性・水性・ジェルインクのどれでも可） インクは黒色  
用紙 べんのか用紙C型

↑ここに貼る↑  
月別・バーコード券

小島鳳浴書（油性ボールペン）

ボールペン（横書き）

最初学んだ書風は、生涯なかなか抜けないものである。それゆえ書風の選択は、学習上の重大要件と言わねばならぬ。専門家や先輩によく聞いて、自己の手腕、個性に適するものを選びねばならぬ。熟考の上で決定し、決定したら迷わず一道を押し進むがよい。

↑ここに貼る↑

『犀水書話』48～50ページより

月別・バーコード券

つけペン（和歌）

よりあひて眞ますぐに立たてる青竹あをだけの  
藪やぶのふかみにうぐひすの啼なく

筆ペン（揭示文）

健康講座

赤ちゃんのアレルギーとスキンケア

正しい知識と対処法を学びます

日時 二月九日（木）午後二時～三時半

会場 本所保健センター

対象 区内在住の乳幼児とその保護者

講師 田辺啓之氏

（田辺内科・小児科医院長）

定員 先着十五組

申込み 墨田区保健衛生課（電話 三四五六―九八七二）

不 教 養				氏 名 欄						歳
-------------	--	--	--	-------------	--	--	--	--	--	---

※規定コースの段級を必ず記入してください。

記入のないものは段級不明となります。

※バーコード出品券と月別出品券(㉔)の2枚を貼って出品してください。

〈大意〉真すぐに伸びた青竹が密集している竹藪の奥から、  
鶯の鳴く声が聞こえた。  
〈作者〉若山牧水（一八八五～一九二八）

随意課題出品のきまり

つけペン (短歌)

課題

右ページの短歌を、自分の書きぶりで体裁よく書きなさい。(漢字・かなの書き換え自由・旧かなづかい使用のこと)

用具

つけペンまたは万年筆 デスクペン ボールペンは不可 インクは黒色

用紙

ぺんの力用紙A型(B型も可)を縦に使用する。

ボールペン (横書き)

課題

右ページの文を横書きに、体裁よく書きなさい。(書体自由)

用具

ボールペン 油性・水性・ゲルインクのどれでも可 インクは黒色

用紙

ぺんの力用紙A型(名前が左にくるように横にして書く。不二教室名、段、氏名は縦書きにする。) B型も可。

筆ペン (掲示文)

課題

右ページの掲示文を縦書きに、文字の位置や大きさを考えて、体裁よく書きなさい。(漢字の書体は楷書または行書)

用具

筆ペン インクは黒色

用紙

ぺんの力筆ペン用紙、またはB4版(約36・4cm×約25・7cm)コピー用紙を縦に使用。作品の下欄には、不二教室名・段・氏名を必ず明記すること。(そのわくは、A型用紙(コピー可)のものを貼るか、筆ペン用紙をお求め下さい。手書き不可)

◆三月号課題予告◆

【専攻コース】

会友 六段

『粘葉本和漢朗詠集 卷上』伝藤原行成筆より

五段 初段

山はおくあるけしきにて、谷道遙に、松杉黒く苔したゞりて、

卯月の天今猶寒し。十景尽る所、橋をわたつて山門に入る。

1級 5級

枸杞の芽の一夜の伸びをのびてゐる青芽つやつや春の朝冷ゆ

6級 10級

嗟嗟羣物中 而人獨不然

【基礎コース】

五段 初段

日新館の中でも興味深いのは、日本最古のプール(水練場)や天

文台があり、給食まで行われていた。

1級 5級

幼いときに覚えた習慣は年を取っても忘れないものだ。

6級 10級

春分 初蝶 入学試験 アスパラガス ひなあられ

※課題は変更になることがあります。

全日本学生書道展と同時開催

書家の登龍門 厳正公平な作品本位の審査

# 第72回 書道學會展

第一会場 令和5年1月4日(水)～1月10日(火)

東京都美術館 2階第3・4展示室(東京都台東区上野公園8-36)  
午前9時30分～午後5時30分(入場は午後5時まで) 最終日は午後2時まで(入場は午後1時30分まで)

第二会場 令和5年1月4日(水)～1月10日(火)

東京芸術劇場 ギャラリー1(5階)(東京都豊島区西池袋1-8-1)  
午前10時～午後7時(入場は午後6時30分まで) 初日は午後3時から、最終日は午後5時まで

■部 門 創作(漢字・かな・新和様)・臨書(漢字・かな)・  
漢字造型(一字書・少字数書)・写経・篆刻

入場  
無料

【主催】公益財団法人 日本書道教育学会 【後援】文化庁・中国大使館・東京都・読売新聞社

※授賞式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、特別賞受賞者のみを対象に執り行います。

東京都美術館にて書道學會展と同時開催

# 第72回 全日本学生書道展

会 期 令和5年1月4日(水)～1月10日(火)

- ◇会 場：東京都美術館 2階第2・3展示室(東京都台東区上野公園8-36)
- ◇時 間：午前9時30分～午後5時30分(入場は午後5時まで)  
※最終日は午後2時まで(入場は午後1時30分まで)
- ◇主 催：公益財団法人 日本書道教育学会
- ◇後 援：文化庁・中国大使館・東京都教育委員会・読売新聞社・  
日本テレビ放送網株式会社

入場  
無料

※授賞式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、特別賞受賞者のみを対象に執り行います。

～日本の伝統文化「書初」にご家族・団体でご出品を！～

## 令和5年 書初不二誌上展

締切  
間近!

出品期間：令和5年1月11日(水)～1月17日(火) 必着

表 彰 特選・金賞・銀賞・銅賞

特選・金賞には賞状及び賞品を、銀賞・銅賞には賞状を贈呈します。  
特選に選ばれた作品は不二各誌・べんの力3月号に写真版として掲載されます。

\*出品要項はホームページをご覧ください。右記のQRコードからもご覧いただけます。



〈送り先〉 〒101-8358 東京都千代田区西神田2-2-3 電話 03(3234)3956  
〈問合せ先〉 公益財団法人日本書道教育学会 書初不二誌上展係 FAX 03(3234)3548

段級 専攻	
基礎	不二教室 氏名
会員 番号	